

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、12の地区より構成されている。昭和29年の市制発足以前は「和田村」と称し、明治22年から14の村落で構成されていた。面積は市全体の14%に当たる14.4平方キロ、人口は1.1%に当たる2,007人、世帯数は768世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われている。

このように専門化された農業地域においても、年々農業従事者は減少し、後継者育成にも大きな問題をなげかけている。地区全域が市街化調整区域のためもあり、人口は減少傾向を示している。また、少子化、核家族化など都市化傾向もみられ、青年層の地域外流出、高齢者層の増加など、純農村として構成されていた社会は変化し続けている。また、地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、和田地区内にも企業の物流基地が進出しており、新たな変化も見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の多くの機能を持つ施設となっている。また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者手作りの学級・講座を開設し、それぞれに興味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開すると共に、地区住民としての共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。各種の住民団体が円滑な活動をすすめられるよう援助・協力をする。

3. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点とする。

4. 広報に関する事業

「公民館だより」の発行 年4回発行

5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。
(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

6. 施設・設備・備品の提供

開館 月～日曜日 午前9時～午後5時 (祝日及び第2第4月曜日は休館)
※火・金曜日の夜間(当分の間午後9時まで)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

年 度 区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
利 用 件 数	4 9 6	5 0 3	4 7 2	4 4 6	4 3 6
利 用 人 数	5, 6 9 1	6, 4 6 7	4, 6 4 7	5, 6 2 3	5, 7 5 9
開 館 日 数	3 2 0	3 2 2	3 2 0	3 2 4	3 2 2

事業の部

事業一覧

領域	事業名	学習内容	対象	期間・回数
家庭教育	子育て教室	楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習した。	2・3歳児と保護者13組	5月～12月 9回
	楽しく家庭教育講座	子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習した。	主に小学生の保護者9人	5月～3月 21回
青少年教育	剣道教室	異年齢集団の中で、剣道を通し心身の健全育成と社会人として必要な習慣を身につけるよう指導した。	地区の小学生 18人	5月～3月 38回
	軽スポーツ大会	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子供の健全育成を図った。	地区の小学生 23人	10月21日
	夏休みおもしろ体験教室	子どもたちが学校では体験できない活動を通して子どもの自主的探究心、協調性、社会性を高めた。	地区の小学生 (4年～6年) 15人	7月26日
	佐倉っ子塾 料理教室	地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立と育成を図った。	地区の小学生 61人	6月～2月 3回
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	はたおり・凧作り・編み物体験を地域の協力で実施し、子どもの自立と健全育成を図った。	地区の小学生 36人	7月～12月 3回
成人教育	和田地区防災訓練	地域づくりの実践現場で役立つ防災について実践的な訓練を行った。	地区の成人 38人	1月27日
	パソコン自由利用	地域住民の自由にパソコンを利用してもらった。	一般	通 年
	佐倉学体験講座 ふるさとの味工房	地域の食材をいかして地域間交流を図るとともに、食文化の伝承を図った。【和田の新鮮野菜料理、太巻き寿司、大和芋料理】	市内の成人 42人	10月～2月 3回
	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田 地域塾	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見していくための講座を実施した。	市内の成人 14人	5月～11月 7回

	佐倉・城下町 400 年 記念事業 ミニわらじづくり	和田小学校 100 周年事業の一環としてスタートしたミニわらじ作りを、和田小学校 PTA の協力を得て江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジしたわらじストラップを作った。	市内の成人 9 人	1 月 27 日
	学びあい講座	市民の自主性に基づき、教えたい伝えたい事について市民自身が講師となり、参加者とともに学びあい、教えあうために実施した。地域の湧水所有者や農業者の協力を得て水環境と人々の暮らしについて湧水の水質調査の体験を踏まえて学びあった。	市内の成人 10 人	2 月～3 月 3 回
高齢者教育	長命大学交流会	長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう、和田地区交流バス見学会を実施した。	地区の成人 28 人	3 月 8 日
	長命大学手芸教室	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切にする事を啓発した。	主に 60 歳以上の成人 5 人	5 月～3 月 9 回
広報・展示	公民館だより発行	公民館主催事業や地域行事等の情報提供を行った。(各 700 部)	和田地区全世帯	年 4 回発行
	歴史民俗資料室の公開	和田ふるさと館歴史民俗資料室の運営。 市内小学校社会科見学 16 校 1,106 人	一般	通 年
団体育成	団体育成事業	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう協力援助した。	○和田地区青少年育成住民会議 ○和田小学校 PTA 民俗資料収集委員会 ○和田はたおり保存会	通 年
図書	図書貸し出し	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。	一般	通 年

1. 家庭教育事業

子育て教室

- 開設趣旨 楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習する。
- 対象・人数 地区の2～3歳児とその保護者 13組
- 期間・回数 平成24年5月～平成24年12月 9回
- 指導者 蓮 淳子
- 学習プログラム

回	月 日(曜)	テ ー マ	会 場
1	5月25日(金)	開講式 お母さん大好き	和田公民館
2	6月 1日(金)	新聞紙遊び	和田公民館
3	6月22日(金)	工夫して遊ぼう	和田公民館
4	7月27日(金)	絵具で遊ぼう	和田公民館
5	9月14日(金)	造形遊び	和田公民館
6	9月28日(金)	意欲を高める運動遊び	佐倉城址公園
7	11月 2日(金)	伝承遊び	和田公民館
8	11月30日(金)	秋を見つけに行こう	佐倉城址公園
9	12月21日(金)	クリスマスお楽しみ会 閉講式	和田公民館

楽しく家庭教育講座

- 開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。
- 対象・人数 主に小学生の保護者 9人
- 期間・回数 平成24年5月～25年3月 21回（主に水曜日の午前）
- 指導者 職員、インストラクター、地域人材講師
- 内 容 家族の体力増進、食の教育、情報活用能力、地域活動 等
- 「子育て教室」「楽しく家庭教育講座」を終えて
- 「子育て教室」については、昨年に引き続き、教室を修了した親が講師補助として事業に参画し、地域の中で助け合って家庭教育を学習する環境が出来つつある。
- 「楽しく家庭教育講座」については毎週水曜日の午前中に開催。家族の食の教育、情報活用能力、地域活動などをテーマとし家庭教育学習を行った。
- また、当講座“ミニわらじ”の作り方を習得し、佐倉城下町 400 年記念事業として行った「手作りミニわらじ」の講師となった。

2. 青少年教育事業

剣道教室

- 開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道を通し心身の健全育成と社会人として必要な習慣を身につける。
- 対象・人数 地区の小学生 18人
- 期間・回数 平成24年5月～25年3月 38回
毎週土曜日 午前9時30分～11時30分
- 学習目標 剣道をとおして礼節を学び、たくましい心身をつくる。
仲間の大切さを知ると同時に、お互いに切磋琢磨することの重要性を学ぶ。

- 指 導 者 片岡 康平
- 協 力 者 藤崎英樹・江野沢清美・鶴田潤子・伊達幸子
- 学 習 内 容 剣道の基本修得・月例試合・対外試合・級位審査会 等

○講座を終えて

今年度は、剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の訓練や仲間づくりを図りました。

また、親の会も昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動しました。

8月3日（金）4日（土）には佐倉草ぶえの丘にて一泊二日の剣道合宿を行い、厳しい稽古とともに楽しい思い出をつくることができたと思われる。

軽スポーツ大会

- 開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。

- 対象・人数 地区の小学生 23人

- 期間・回数 平成24年10月21日(日)

- 学習目標 グラウンドゴルフを通じて世代間の交流を図る。

- 指 導 者 石渡 光治（スポーツ推進員）

- 共 催 和田地区青少年育成住民会議 和田地区社会福祉協議会

- 学習内容 グラウンドゴルフ

○講座を終えて

住民会議と和田地区社会福祉協議会と共に実施し、地域の子どもと地域住民が交流し青少年の健全育成を、地域で考える場になっています。

夏休みおもしろ体験教室

- 開設趣旨 子どもたちが学校では体験できない活動を通して子どもの自主的探究心、協調性、社会性を高める機会を作る。

- 対象・人数 地区の小学生3年～6年 15人

- 期間・回数 平成24年7月26日(木)

- 指 導 者 田尾幸夫、六崎美知代 ほか

○講座を終えて

学校では体験できない活動を行うため夏休みおもしろ体験教室として開催した。

教室では、専門家を講師に迎え、理科実験の体験を行った。

また、料理や片づけなどを自分で行うことで、日常生活の中における保護者の大変さや感謝の気持ちを再認識することができた。

このように様々な体験をとおして夏休みの楽しい体験や思い出づくりができたと思われる。

佐倉っ子塾 料理教室

- 開設趣旨 地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立と育成を図る。

- 対象・人数 地区の小学生 32人

- 期間・回数 平成24年6月～2月 3回

- 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、共に料理を作ることによって子どもたちを地域で見守り育む場とする。

- 指 導 者 六崎美知代

- 共 催 和田地区青少年育成住民会議

- 学習内容 料理

○学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
6月16日 (土)	第1回子ども料理教室	(1) 豚肉のロール巻き (2) たまごのスープ (3) バンナコッタのフルーツ添え	六崎 美知代	和田公民館 実習室

10月13日 (土)	第2回子ども料理教室	(1) 甘辛のり卵焼き (2) きのこと厚揚げのミートソース煮 (3) 甘食もどき	六崎 美知代	和田公民館 実習室
2月3日 (日)	第3回子ども料理教室	(1) オムライス (2) はんぺんのベーコン巻 (3) マシュマロのチョコかけ	六崎 美知代	和田公民館 実習室

○講座を終えて

和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施しました。

「子ども料理教室」は、子どもたちが男女に関係なく生きるために『食生活』において自立することを目的としています。

子どもたちは料理に興味をもち、作る楽しさ・出来たときの喜びを感じ取っていたようでした。

毎回、低学年から高学年まで、多くの児童が参加する人気事業です。

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

○開設趣旨 和田地区青少年育成住民会議等と和田公民館が共催で行う事業で、地域住民の協力を得ながら、地域素材を活かした体験教室を通じて青少年の自立と健全育成を図る。

○対象・人数 ①はたおり体験 市内の3年生～6年生とその保護者 12組23人
②編み物体験 地区の小学生 4人
③凧作り体験 地区の小学生 10人（3年生までは保護者と参加）

○期間・回数 ①平成24年7月21日
②平成24年7月31日
③平成24年12月16日

○学習目標 地域住民や地域組織と協働し、子どもたちを地域住民で見守り育む場とする。

○指導者 和田はたおり保存会 長命大学手芸教室 青少年相談員 他

○共催 和田地区青少年育成住民会議

○協力者 主任児童委員、青少年相談員、和田子ども会

○学習内容 編み物体験・はたおり体験・凧作りなど

○学習プログラム

月 日	テーマ	内 容	指 導 者	会 場
7月21日 (土)	はたおり体験	和田ふるさと館所蔵のはたおり機を使って、親子ではたおりを体験。	はたおり保存会	和田ふるさと館 ふるさと伝承室
7月31日 (火)	編み物体験教室	ゆび編みで作るアクセサリ	長命大学手芸教室生による指導	和田公民館 和室
12月16日 (日)	凧づくり教室	地域団体が協力し伝統の彦一凧作りに挑戦した。	青少年育成住民会議 青少年相談員 和田子ども会	和田公民館

○講座を終えて

すべての事業は、和田地区青少年育成住民会議などの地域団体と公民館が共催で実施しました。

「はたおり体験」は、和田はたおり保存会の協力を得て、親子で伝統文化を体験する場の提供をすることができた。

「編み物体験」は長命大学で公民館を利用いただいている高齢者の方々に小学生を指導していただき、世代間交流も同時に実現できた。

「凧作り」は、住民会議と青少年相談員の共催で実施し、親子で伝統的な彦一凧作りを行った。和紙に絵を

描き、竹ひごと紐をつかって風に仕上という方法で作成した。

市販の風と違い、なかなか思うように作ることができず、それをまわりの大人と一緒に作り上げるため、地域で子どもを育てる機会となった。

3. 成人教育事業

和田地区防災訓練

○開設趣旨 地域づくりの実践現場で役立つ防災について訓練を行う。

○対象・人数 地区の成人 38人

○期間・回数 平成25年1月27日(日)

○学習目標 災害発生時に、落ち着いた行動と助け合いの精神を醸成する

○指導者 佐倉消防署職員

○共催 和田地区社会福祉協議会

○協力者 佐倉市役所防災防犯課職員

○学習内容 避難訓練・消火訓練・災害の備えについて講義

○学習プログラム

○講座を終えて

「和田地区防災訓練」では、和田地区社協と共催して避難訓練、消火訓練を実施した。東日本大震災など実際の事例に基づき、地域の防災や公共施設等での防火訓練を通して防災意識を高めるとともに実際の火災対応等について学ぶことができた。

佐倉学体験講座・ふるさとの味工房

○開設趣旨 和田地区の特長を活かし、食材を地元の物を使用して食文化の伝承を図る。

○対象・人数 成人 42人

○会場 和田公民館実習室

○期間・回数 平成24年10月～平成25年2月 3回

○学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
10月4日 (木)	和田の新鮮野菜 料理講座	(1) トマトとアボガドのヘルシー丼 (2) ささみときゅうりの梅和え (3) かぼちゃのチーズ焼き	食生活改善推進 委員和田支部	和田公民館 実習室
12月7日 (金)	太巻き祭り寿司 講座	準備から基本の巻き方まで 「あんぱんまん」 「桃の花」	伊藤英美子	和田公民館 実習室
2月22日 (木)	大和芋の美味し い食べ方講座	(1) 麦とろ (2) 五目焼き (3) とり団子汁 (4) 梅肉和え ほか	伊藤英美子	和田公民館 実習室

○講座を終えて

ふるさとの味工房については、和田地区の農業の特長を活かし、地元食材を使用して食文化の伝承を図るとともに地域の食文化について考える場となった。

佐倉学入門講座・楽しく学べる和田地域塾

○開設趣旨 和田地区の歴史や民俗、自然を学び和田地区に対する知識理解を深め、郷土愛の育成を図る
佐倉学を普及推進する。

○対象・人数 成人 14人

○期間・回数 平成24年5月～平成24年11月 7回

○学習プログラム

月 日	内 容	指 導 者 等
5月16日(木)	和田の歴史「下勝田の獅子舞」について	大川 一光氏(和田地区在住)
6月 6日(水)	はたおり体験	はたおり保存会
6月20日(水) (雨天のため中止)	和田地区の自然と仏像を訪ねて	松平喜美代氏(植物研究家) 京極 勇剛氏(宝金剛寺住職)
7月11日(水)	地元作家の指導による陶芸体験①	安本幸世氏(地元陶芸家)
9月12日(水)	地元作家の指導による陶芸体験②	安本幸世氏(地元陶芸家)
10月17日(水)	わら細工 鍋敷きを作ってみよう	藤井 毅氏(地元農業者)
11月14日(水)	和田の新米で大和芋料理	伊藤 芙美子氏(伝統料理研究家)

○講座を終えて

佐倉学入門講座として本事業を開設しましたが、市内の各地域から参加があつて、好評を得ることができました。住民との交流と伝統文化を知るための貴重な機会になったと思います。

佐倉・城下町 400 年記念事業 ミニわらじづくり

- 開催趣旨 和田小学校 100 周年記念事業の一環としてスタートしたミニわらじ作り。
そのノウハウを持った和田小学校 PTA のお母さん方の協力を得て、江戸時代の作り方そのままにミニわらじを現代風ストラップにアレンジしたものを作成する。
- 対象・人数 市内成人 9 人
- 会場 和田公民館
- 期間・回数 平成25年1月27日 1回

学びあい講座 佐倉の水環境と私たちの暮らし

- 開催趣旨 市民の自主性に基づき、教えたい伝えたい事について市民自身が講師となり、参加者とともに学びあい、教えあうために実施した。地域の湧水所有者や農業者の協力を得て水環境と人々の暮らしについて学びあう。
- 対象・人数 市内成人 10 人
- 会場 和田公民館・和田地区の湧水
- 期間・回数 平成25年2月～3月 3回

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
2月 9日 (土)	地球と水と私たち	水の基礎知識、水循環と佐倉市内の水環境	岩井久美子	和田公民館 会議室
2月16日 (土)	和田の湧水を見に行こう	湧水の水質調査と地元の方の説明。 湧水と湧出機構。湧水と私たちの関わり。	岩井久美子	和田地区・下 勝田の湧水
3月 2日 (土)	水との上手な付き合い方	水との上手な付き合い方	岩井久美子・ 白鳥孝司《基調 講演》	和田公民館 会議室

4. 高齢者教育事業

長命大学交流会

- 開設趣旨 長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう、和田地区交流バス見学会を行う。
- 期 日 平成25年3月8日（金）
- 内 容 柴又帝釈天(東京都葛飾区)を訪ね、葛飾区の観光ボランティアガイドの実際を学び地域における高齢者の役割について考える。
- 対象・人数 和田地区在住の高齢者・一般成人 28人
- 講座を終えて 参加者と近い世代のボランティアガイドの方と接する機会は、参加者の方たちにより刺激になった。また、なかなか一緒に外出する機会がない方たちが共に参加することで、地域の連帯感を得ることができた。

長命大学 手芸教室

- 開設趣旨 高齢者が心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、手芸を通し、高齢者の親睦と生き甲斐作りを進める。
- 対象・人数 60歳以上の成人 5人
- 期間・回数 平成24年5月～25年3月 毎月2回
(2回のうち1回は自主活動) 9回
- 指導者 佐藤 節子
- 学習内容 リフォームを中心とした編物(文化展に作品展示)
- 講座を終えて
長年にわたる活動で、手芸技術はかなり高度なものとなっています。高齢者どうしの親睦をはかると同時に家庭内での高齢者の役割を考える為にも重要です。受講生が減少しつつあるため、公民館だよりなどで、随時、呼びかけていきます。

5. 広報・展示事業

広報事業

- 公民館だより 公民館主催事業や地域行事等の情報を提供する。
発行 年4回発行(9月、10月、12月、2月)
配布方法 区長を通し各戸配布

展示事業

和田ふるさと館歴史民俗資料室展示事業

○事業趣旨

平成13年4月1日、和田ふるさと館内に和田公民館別館として「和田ふるさと館歴史民俗資料室」が開室しました。展示の中心となる農具・民具の実物資料は、昭和45年より和田小学校PTA民俗資料収集委員会が地区内に散在する資料の収集を行い、平成11年に佐倉市への寄贈を受けたものです。歴史民俗資料室は、和田地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点、市民の生涯学習の拠点としての機能を持ち、学校教育の支援も行っています。

市内小学校社会科見学については、和田はたおり保存会によるはたおりの実演、家庭教育学級参加者による解説を行いました。

○市内小学校社会科見学状況

16校 1,106人

5月5校 6月5校 9月1校 10月3校 11月1校 2月1校

6. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化しています。こうした問題の解決のため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っている7。

②和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、46年11月に収集委員会を設置しました。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、しめ飾り講習会など、和田の特色を生かした活動を実施しました。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはた織機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成されました。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っています。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行った。

7. 図書事業

○趣 旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵 書 数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	0	2	0	11	14	0	5	0	0	5	6	48	91
返 却	85	124	33	232	163	172	122	111	86	32	55	68	1283